



ねんとう 年頭のごあいさつ

筑紫野市長

藤田陽三



明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中、市政にお寄せいただきましてご理解とご支援に對し心から御礼申し上げます。

昨年7月の九州北部豪雨により被災された皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を祈念いたします。

市では、朝倉市・東峰村に職員を派遣するとともに、市民の皆様にもご協力を賜り義援金を募るなど支援を行ってまいりました。

災害に強いまちづくりは、現在実施している高尾川地下河川築造工事などの浸水対策に加え、82行政区の自主防災組織を中心としたコミュニティごとの「自助」「共助」の取り組みを推進し、「公助」とあわせて、市全体の防災力を高めていくことが肝要です。本年4月には、子育て支援や空家対策など新たな行政ニーズに對応するとともに、危機管理体制の強化を図るため、組織機構の見直しを行います。コミュニティとの連携、そして防災の拠点となる市庁舎建設事業は、11月の完成に向けて着実に進捗しており、未来へ

の扉が開かれようとしております。今後も市民の皆様が心豊かで安全安心に暮らせる、ひかり輝く筑紫野市づくりに誠心誠意努めてまいります。

さて、市では「行財政改革」「産業・雇用をつくる」「生活をまもる」「共助社会づくり」「未来をつくる」の5つの政策に基づいた事業を展開しております。本年もこの政策を柱として少子高齢化や人口減少などの課題に對応し、緑豊かな自然と交通の利便性、そして万葉の歴史や文化といった環境や特性を活かした施策を進めてまいります。

市長就任以来、継続しています「移動市長室」は75回を数え、多くの市民の皆様からご意見を賜り、さまざまな改革、改善へとつながる力をいただいています。まちづくりの主役は、市民の皆様一人おひとりでございます。本年も市政各般に對し、ご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にとりまして、お健やかで素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。

